



D.I. 質問箱

Q48

成人百日咳について教えてください。

回答：桑原正雄先生

疾患プロフィール感染症担当

A48

成人百日咳は、成人の「長引く咳」の12～32%を占めており、今年は最多になると予測されています。増加の原因としては、①ワクチン獲得抗体価の減弱、②百日咳菌の遺伝子変異でワクチン効果の減少、③ワクチン未接種者の増加、などがあげられています。

症状としては、発作性咳、持続性咳、咳の後の嘔吐が特徴とされており、肺炎を併発したり、小児への感染源になります。臨床検査では小児百日咳で特徴的な白血球数増加、リンパ球増多が、成人の場合は見られないことが多く、赤沈、CRPは正常範囲か軽度上昇とされています。

診断では、百日咳抗体として頻用されている百日咳菌凝集素価は東浜株（ワクチン株）と山口株が測定されます。ペア血清（病勢期と回復期）で4倍以上の抗体価上昇があれば百日咳と診断されます。しかし、成人の場合、発症早期から抗体価が上昇することが多く、慢性持続咳嗽例の初診時にはすでに高値になり、診療期間中には抗体価が下降しない例もあるために、注意が必要です。

シングル血清での抗体価では、明確な診断基準はありません。検査時の感染前から、以前の感染後あるいはワクチン接種の高い抗体価をすでに保有していたり、感染による抗体価上昇と検査時期のズレがあったりして、1回だけの検査では今回の感染かどうかの判断が困難です。

典型的症状があり、160倍～320倍以上であれば百日咳の可能性は高いとされています。また、別の報告では、目安として10歳未満はワクチン接種者を考慮して山口株320倍以上、10歳以上ではワクチンの影響はないと考えられ、山口株40倍以上を陽性、山口/東浜株比が4以上も陽性の参考とされています。

なお、『症例報告 感染症を知るシリーズ（第1回）成人百日咳』をご参照下さい。

お問合せ：学術データインフォメーション（D.I.）まで

0120-14-8734（フリーダイヤル）/ 082-247-4325（ダイヤルイン）



田おこし、あらがき、しろかき、田植え…と続き、忙しかった農作業もひと段落です。ここで楽しみがやってきます。「竹の子掘り」「わらび取り」と自然の恵みを満喫できます。また、気候もよくなり、スポーツやドライブもいいですね。

しかし私にとっていいことばかりではありません。田・畑の草刈、家の周りの草取りがあるからです。生えなくてもいいものが次から次に生えてきます。暑さの中で行うこの作業が秋まで続きます。今年も“ダイエット”と思い、頑張ってみますか！？でも一日の作業が終わった時は、とても清々しい気分になっていいですよ。

正木 篤志（業務システム課課長補佐）

広報委員

松本 道雄 / 藤本 誠 / 伊丸 直樹 / 中村 賢作 / 渡川 美弥子 / 初岡 博

